

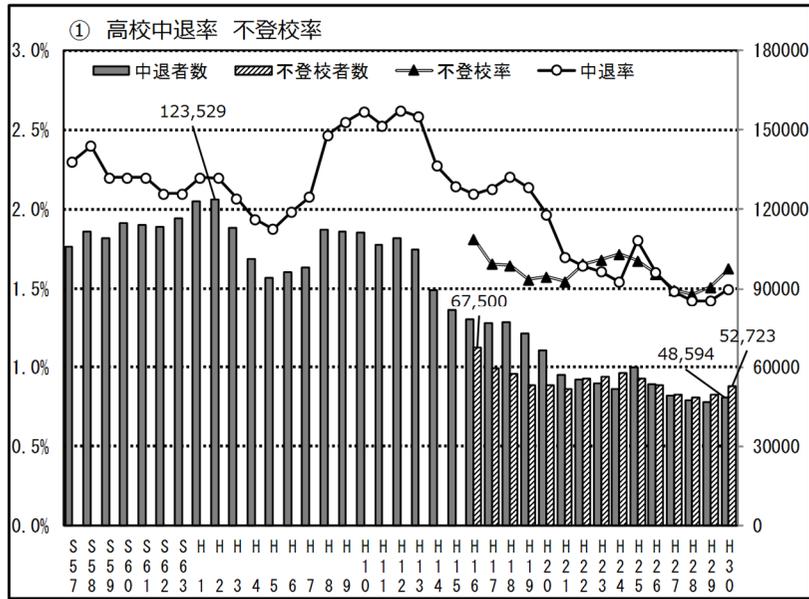
通信制高等学校の質の確保・向上に関する調査研究協力者会議（第2回）  
におけるヒアリング資料

令和2年1月15日

東京都立新宿山吹高等学校

統括校長 梶山 隆 （商業）

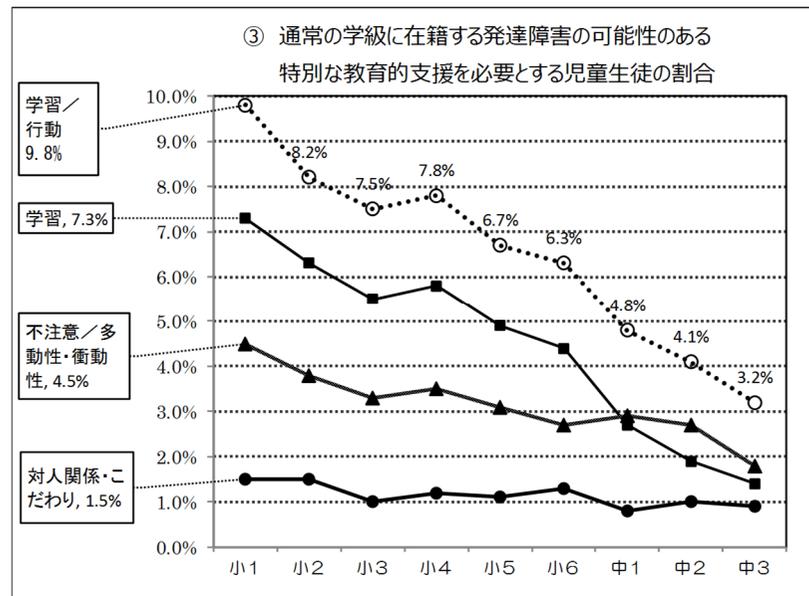
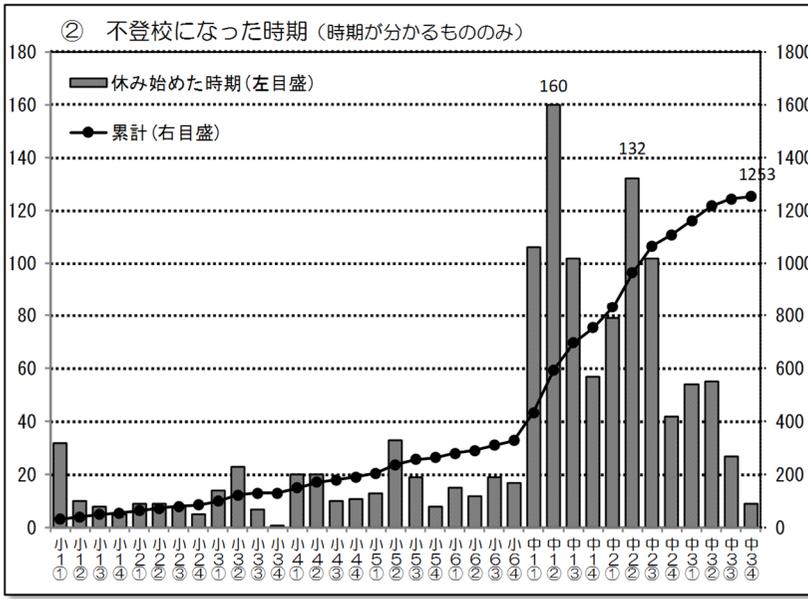
副校長（通信制担当） 松木 富美代（養護）



←「不登校や中途退学経験を有する生徒…の学習機会として通信教育の果たす役割は大きく、…」(学習指導要領総則解説より)

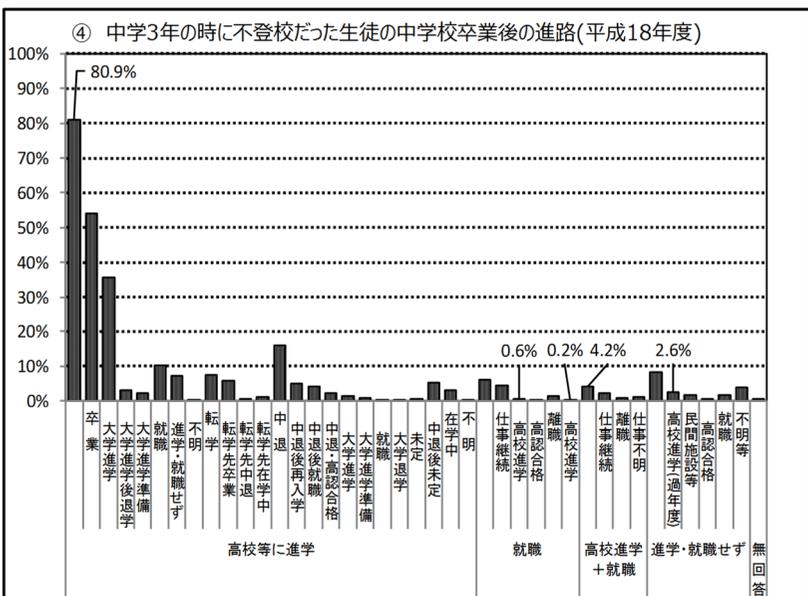
→「休みはじめた時期については、7月～9月が最も多く、4月～6月、10月～12月の順に高い比率となっている。…7月～9月は長期休業があることを考えると、長期休業明けの9月に最も多くなるのではないかと考えられる。」(追跡調査より)

① 4～6月 ② 7～9月 ③ 10～12月 ④ 1～3月

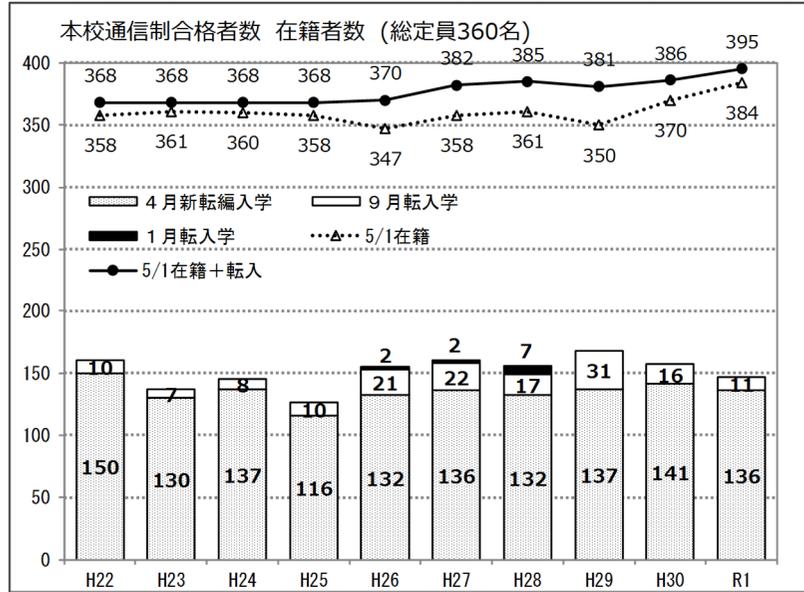


←「周囲の教員や児童生徒の理解が深まり、そのことが適切な対応につながり、当該児童生徒が落ち着く…学校における生活経験を積む、友人関係ができる、部活動にやりがいを見いだすなどにより、当該児童生徒が学校に適応…」(調査より)

→(前回調査に比し)「就学」は65.3%から85.1%と約20%増加…中学校における不登校生徒に対する支援体制が整えられ…高等学校等においても不登校生徒の受け入れ体制が整備されてきた…」(追跡調査より)



⑤本校通信制への入学は年3回(4月新転編入、9月転入、1月転入)

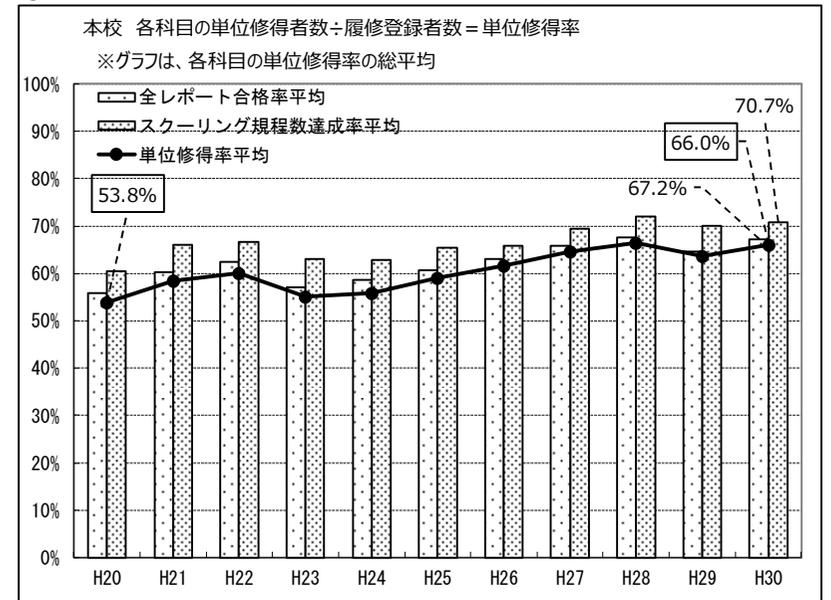


←「通信制の課程の学習の量と質は全日制・定時制の課程の学習の量と質と同等である…」(学習指導要領総則解説)

したがって、前籍校が全定通のどの課程であっても、原則として、年度途中で前籍校からの履修を引き継ぐことができる。

不登校者等が多くなる9月、1月等に向け、地域等の事情を踏まえ、セーフティーネットとしての役割を果たしたい。

⑥本校単位修得率 (注:⑬の在籍者1単位以上単位修得率が30は78%)



⑦本校添削課題(レポート)の提出期限、面接指導(スクーリング)の在り方、定期考査受験要件等

東京都教育委員会認可通商教育

レポート課題  
平成31年度(2019)

国語総合

期	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回
前期	5月 14日	6月 28日	6月 11日	6月 25日	7月 9日	7月 23日	10月 23日	11月 6日	11月 19日	12月 10日	12月 17日	1月 15日
後期												

★レポートをもらったら★

- 必要科目数があるかどうかを確認する。
- 各回の履修履歴は、「1〜4」のうちに「・」印が付いています。
- 各回のレポート提出票に「バーコードシール」を2枚所すつ切り、本校内の生徒番号および氏名を丁寧に記入する。

★提出するとき★

- 左上をタッチキスで指示通りに止めているかを確認する。
- 青色の返送用紙に自分の住所・氏名をボールペンで丁寧に書く。
- 郵送するときは「学習のしおり」の注意に記しているつ折りにして送付する。
- 直接学校に届けるときは、学校宛の白い用紙を貼ります。
- 再提出の場合は、元の提出票をはがさずに付けたままにする。

東京都立新宿山吹高等学校

国語総合(4単位)レポート表紙 年間12通

○「学期当初や年度末、試験前に添削課題をまとめて提出することを可能とするような運用を行ったり、添削指導や面接指導が完了する前に、当該学期の全ての学習内容を対象とした学期末の試験を実施したりすることがないよう、年間指導計画に基づき、計画的に実施することが必要である。」(学習指導要領総則解説)

○本校では、年間指導計画に基づき、添削課題の提出期間(締切1か月前～各回締切日)を設け(例左右図)、提出を促している。ただし、各回締切日を過ぎた場合でも、受付し、添削し、減点はするが評価し、単位修得につなげている。(1月末の指定日まで)

○面接指導には、年間を通し計画的に出席するよう指導しているが、前期定期考査までに、前期分の添削指導、面接指導が完了していないと、定期考査を受けさせないという対応はしていない(平成22年度以降)。面接指導は後期最終回までに規定時数を完了すればよい。

○基本的に、面接指導は、毎回異なる内容であり、添削課題の解説ではなく、教員と生徒、生徒同士のやりとりを大切に、思考力、判断力、表現力を高める活動を行っている。

○なお、当該年度末卒業予定者が、前期の定期考査時点での添削課題が不足していると、卒業見込みにならない。しかし、それ以降の時点で添削課題に合格した場合は、随時成績会議を行い、卒業見込みを認定し進路活動につなげている。

東京都教育委員会認可通商教育

レポート課題  
平成31年度(2019)

数学A

期	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回
前期	5月 23日	6月 20日	7月 18日	10月 30日	11月 21日	12月 19日
後期						

★レポートをもらったら★

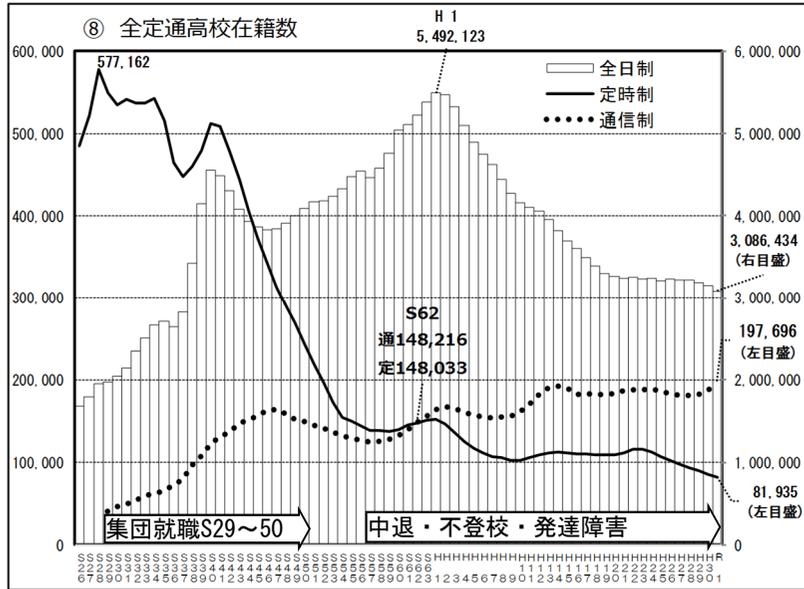
- 必要科目数があるかどうかを確認する。
- 各回の履修履歴は、「1〜4」のうちに「・」印が付いています。
- 各回のレポート提出票に「バーコードシール」を2枚所すつ切り、本校内の生徒番号および氏名を丁寧に記入する。

★提出するとき★

- 左上をタッチキスで指示通りに止めているかを確認する。
- 青色の返送用紙に自分の住所・氏名をボールペンで丁寧に書く。
- 郵送するときは「学習のしおり」の注意に記しているつ折りにして送付する。
- 直接学校に届けるときは、学校宛の白い用紙を貼ります。
- 再提出の場合は、元の提出票をはがさずに付けたままにする。

東京都立新宿山吹高等学校

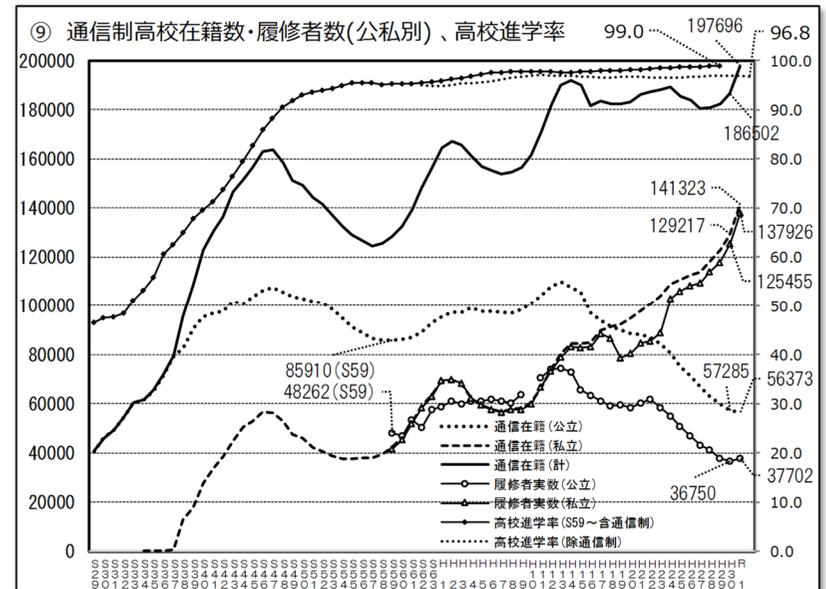
数学A(2単位)レポート表紙 年間6通



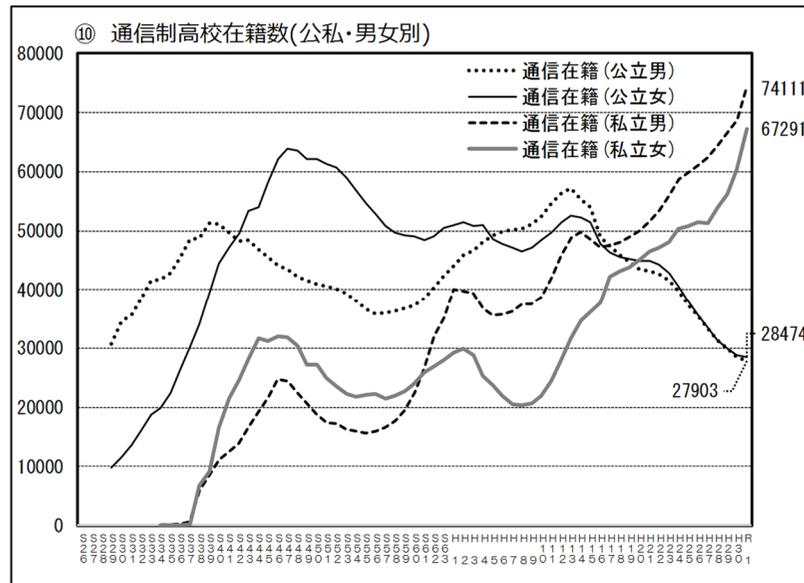
※学校基本調査(文部科学省)より作成

←全高校生に占める通信制生徒の割合  
(令和元年5月1日時点)  
 $197696 \div (3086434 + 81935 + 197696) \approx 6\%$

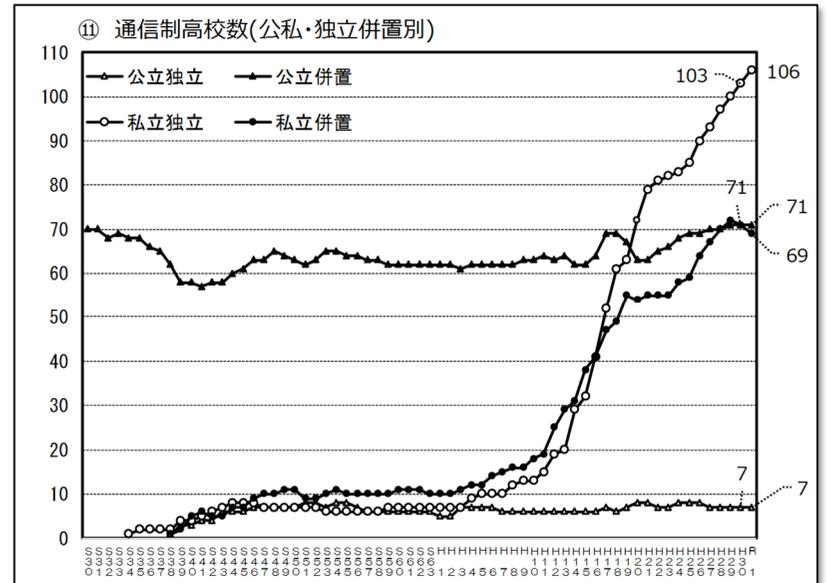
→不活動生数・比率  
(令和元年5月1日時点)  
 ※不活動生 = 1科目も履修登録をしていない者とした場合  
 ○公立通信制  
 $37702 \div (56373 + 2326) \approx 64\%$   
 (不活動生約36%)  
 ※自他校併修生2326名  
 ○私立通信制  
 $137926 \div (141323 + 25) \approx 98\%$   
 (不活動生約2%)  
 ※自他校併修生25名  
 ○本校  
 全員が必ず1単位以上履修登録している。



※学校基本調査(文部科学省)より作成

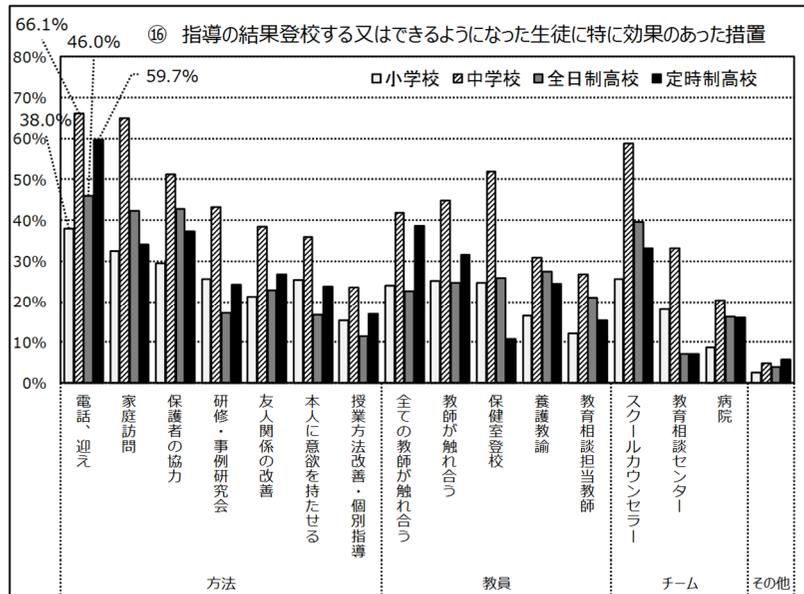


※学校基本調査(文部科学省)より作成



※学校基本調査(文部科学省)より作成

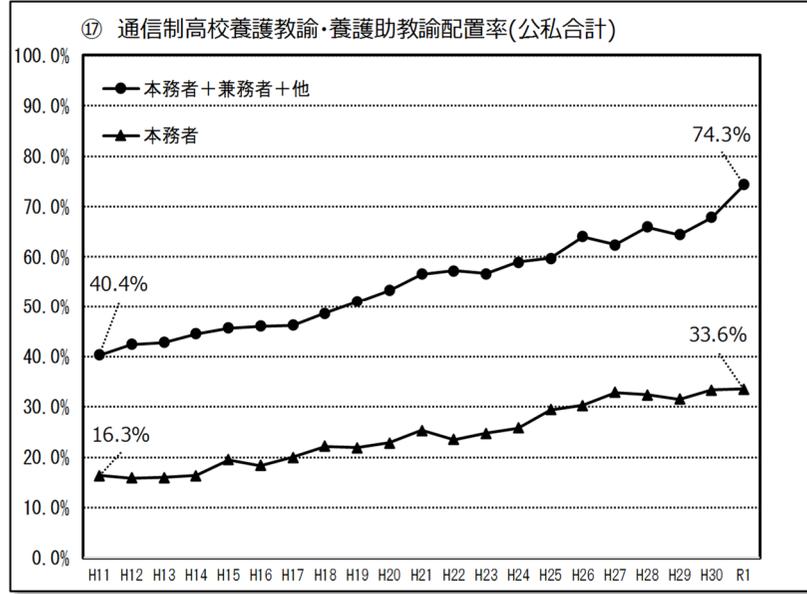




※問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査(平成26年度 文部科学省)より作成

←不登校に特に効果のあった措置では、全校種で、“電話、迎え”が最も多い。  
 添削指導等では、郵便でのやり取りが基本である。しかし、生徒支援では、“面談”のほか、“電話”を使ったface to faceでの触れ合う、寄り添う指導が必要である。

→令和元年度公私計253校  
 本務者計85名  
 $85 \div 253 \approx 33.6\%$   
 本務・兼務・他計188名  
 $188 \div 253 \approx 74.3\%$   
 ○養護の必要性から、本務者以外を配置しているのが現状である。



※学校基本調査(文部科学省)より作成

## 引用

- 「学校基本調査」 昭和26年度～令和元年度（文部科学省）
- 「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果」 平成28年度～平成30年度（文部科学省）
- 「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査結果」 昭和57年度～平成27年度（文部科学省）
- 「平成18年度不登校生徒に関する追跡調査報告書」平成26年7月9日（文部科学省）  
 ※平成18年度の全国中学3年生は1,222,962名であり、うち不登校生徒は4,1043名であった。不登校だった者が、20歳になった時点の平成23年度に任意で1,604名から回答を得た。
- 「通常の学級に在籍する発達障害の可能性のある特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査結果」平成24年1月25日（文部科学省）  
 ※無作為で全国の小中学校教員約5,000名に、無作為でクラスの児童生徒10名を抽出してもらい、発達障害に関する質問紙の回答を得た。

**通信制課程における**

**養護教諭の必要性**

# 1 養護教諭の職務 養護教諭は児童の養護をつかさどる

教職員配置等の在り方に関する調査研究協力者会議（第3回）配付資料平成17年6月8日

## 1 学校保情報の把握に関すること

- (1) 体格、体力、疾病、栄養状態の実態
- (2) 不安や悩みなどの心の健康の実態 等

## 2 保健指導・保健学習に関すること

〔個人・集団対象〕

- (1) **心身の健康に問題を有する児童生徒の個別指導**
- (2)

**健康生活の実践に関して問題を有する児童生徒の個別指導**

〔集団対象〕

- (1) 学級活動やホームルーム活動での保健指導
- (2) 学校行事等での保健指導

〔保健学習〕

保健学習への参加・協力

## 3 救急処置及び救急体制に関すること

## 4 健康相談活動に関すること

## 5 健康診断・健康相談に関すること

- ・ 定期・臨時の健康診断の立案、準備、指導、評価 等

## 6 学校環境衛生に関すること

- (1) 学校薬剤師が行う検査の準備、実施、事後措置に対する協力
- (2) 教職員による日常の学校環境衛生活動への協力・助言 等

## 7 学校保健に関する各種計画・活動及びそれらの運営への参画等に関すること

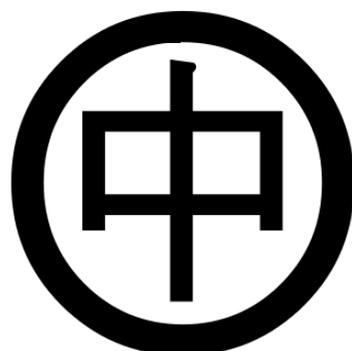
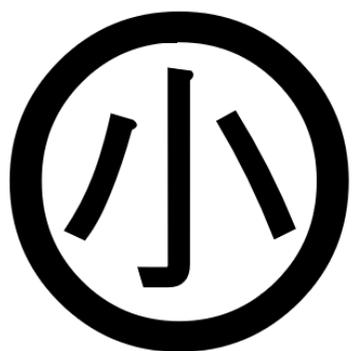
- (1) 一般教員の行う保健活動への協力
- (2) 学校保健委員会等の企画運営への参画 等

## 8 伝染病の予防に関すること

## 9 保健室の運営に関すること

## 2 養護教諭配置の法的根拠 高校では必置ではありません

■学校教育法 第37条 第49条



置かねばならない

■学校教育法 第60条第2項



置くことができる

### 3 養護教諭配置の法的基準

学校教育法では、必置ではありませんが、

「公立高等学校の適正配置及び教職員定数の標準等に関する法律」では

第十条 に

全日制では 81人から800人までは課程数×1

定時制では 121人から800人までは課程数×1

801人以上では課程の数×2 とあります。

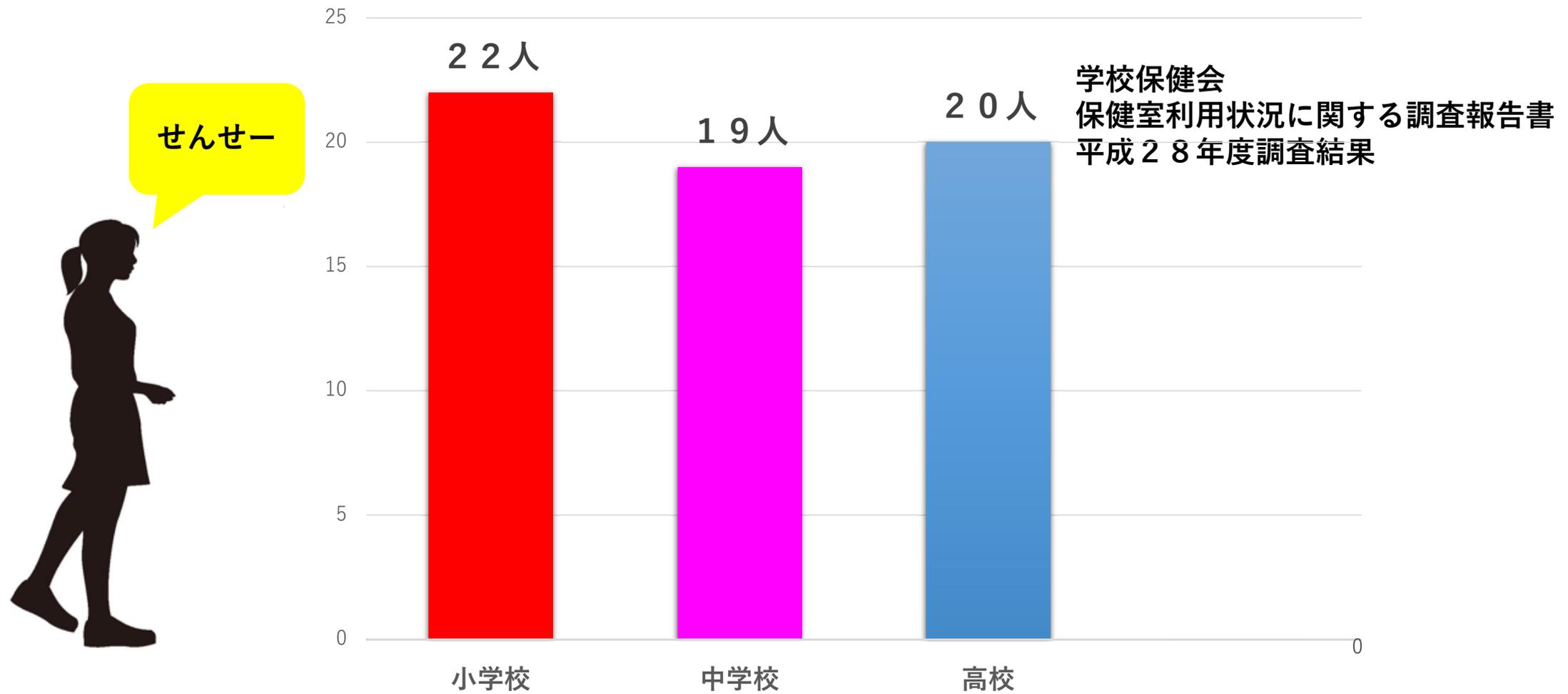
しかし通信制に関する記述はありません。

## 4 通信制高校への養護教諭・養護助教諭配置率(公私)

	平成11年	令和1年
本務者	16.3%	33.6%
本務者と兼務者等	40.4%	74.3%

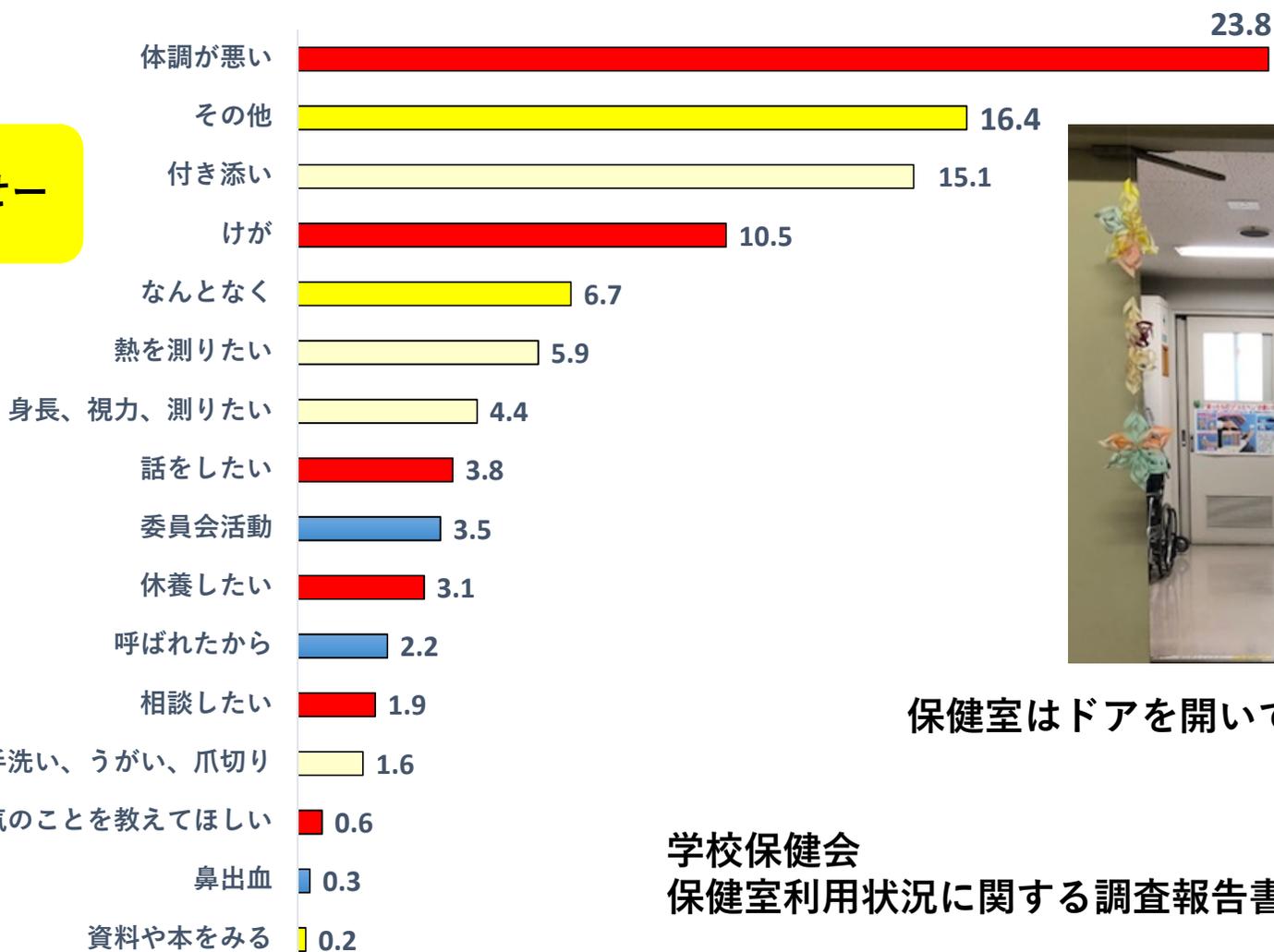
配置率は向上しています。

# 5 小・中・高別1日の平均保健室来室者数(全・定)



## 6 高校生の保健室来室理由(全・定)

せんせー



保健室はドアを開いて生徒を待っています

学校保健会  
保健室利用状況に関する調査報告書

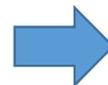
# 7 保健室来室生徒の背景要因(全・定)

学校保健会  
保健室利用状況に関する調査報告書

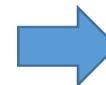


せんせー

- ①頭痛いんです
- ②絆創膏ください
- ③ねえ、先生
- ④休ませてください



背景要因	複数回答
人間関係	47.9%
身体症状で示される不安や悩み	23.2%
学習・進路の問題	21.4%
基本的生活習慣	20.7%
発達障害（疑い含む）	5.4%
精神疾患（疑い含む）	4.0%
体の発育・発達	2.9%
虐待	0.2%



判断

養護教諭は、生徒の主訴だけでなく背景要因を想定し判断し対応します。

## 8 主訴に隠された本当に困ったこと

①頭痛いんです

実は、人間関係に悩んでいた。

せんせー

②絆創膏ください

実は、リストカットを見せたかった。

③ねえ、先生誰にも  
言わない？

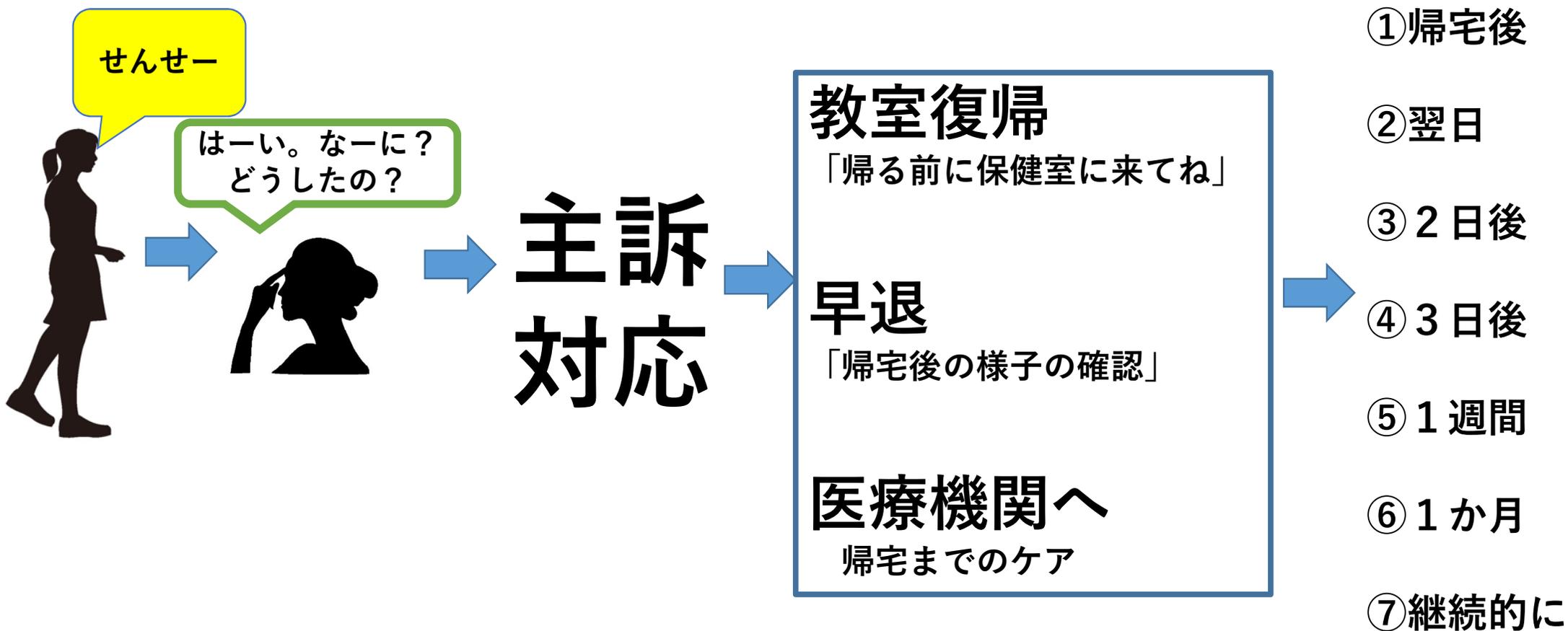
誰かに聞いて欲しい過去の体験に苦しんでいた。

④休ませてください

虐待されていて夜眠れなかった。

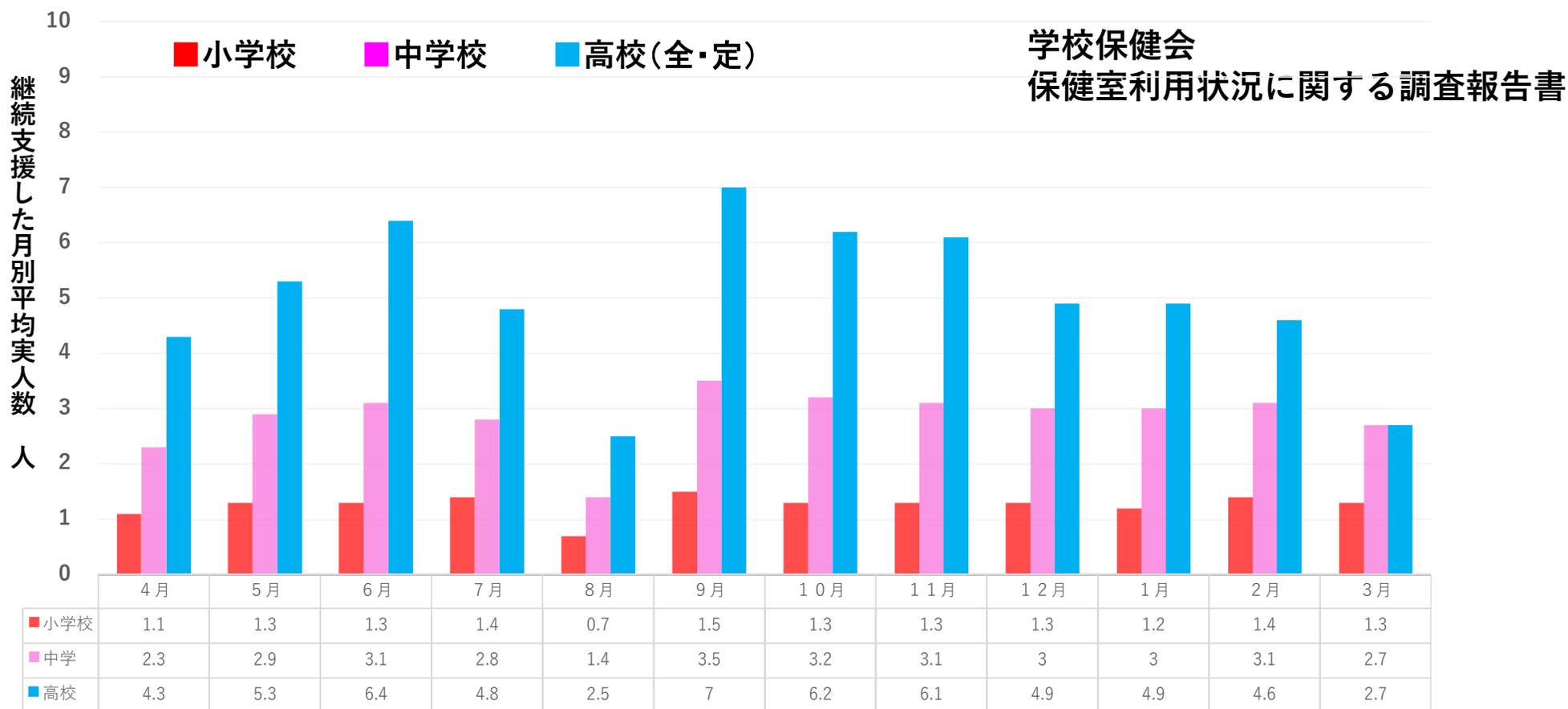


## 9 背景を含め判断し、継続的に支援する



# 10 「養護教諭の継続支援有」と回答した学校の平均実人数(月別)

継続支援有 ■小学校 60.1% ■中学校 79.2% ■高校 91.4%

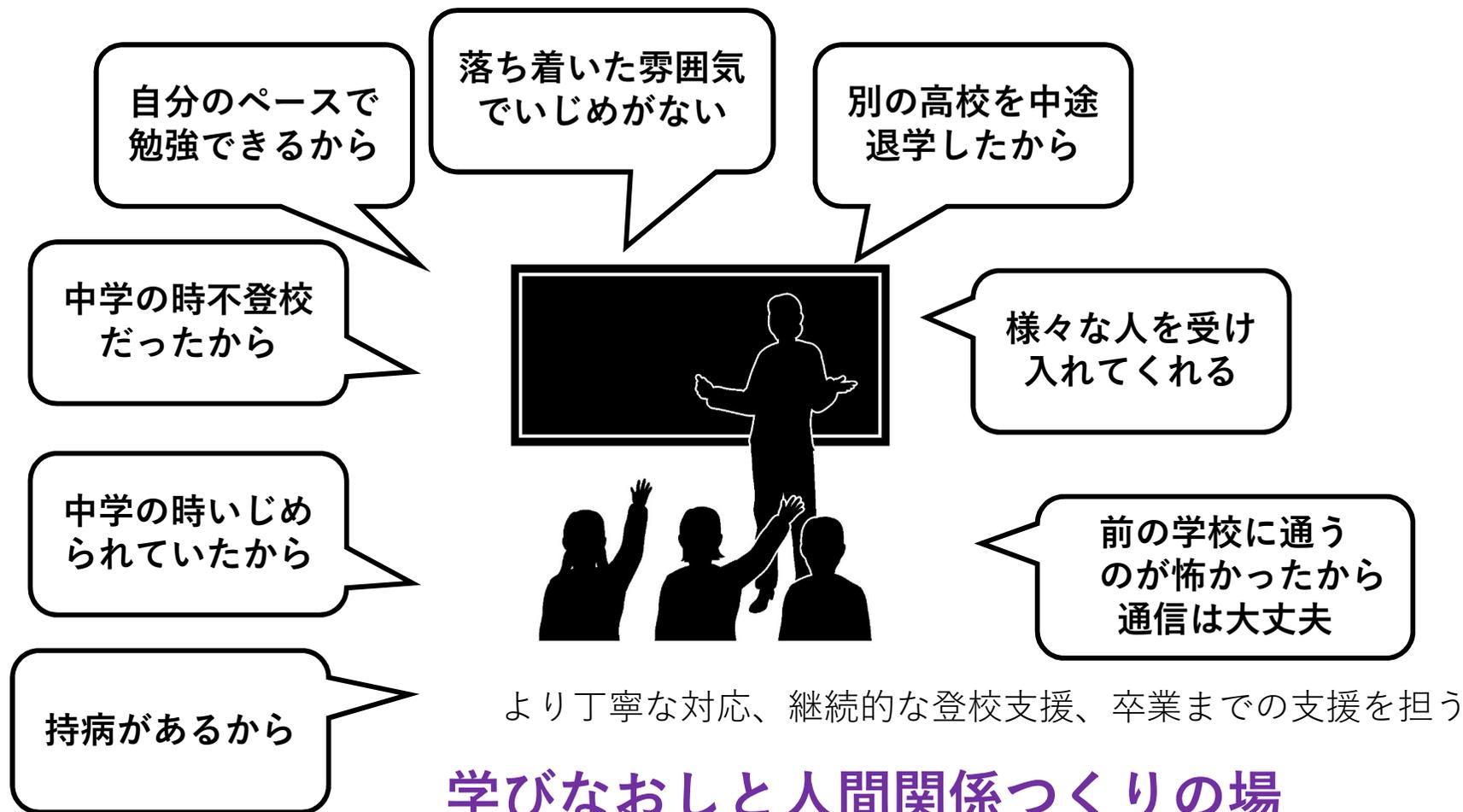


# 1 1 保健室登校の有無と復帰までの支援日数

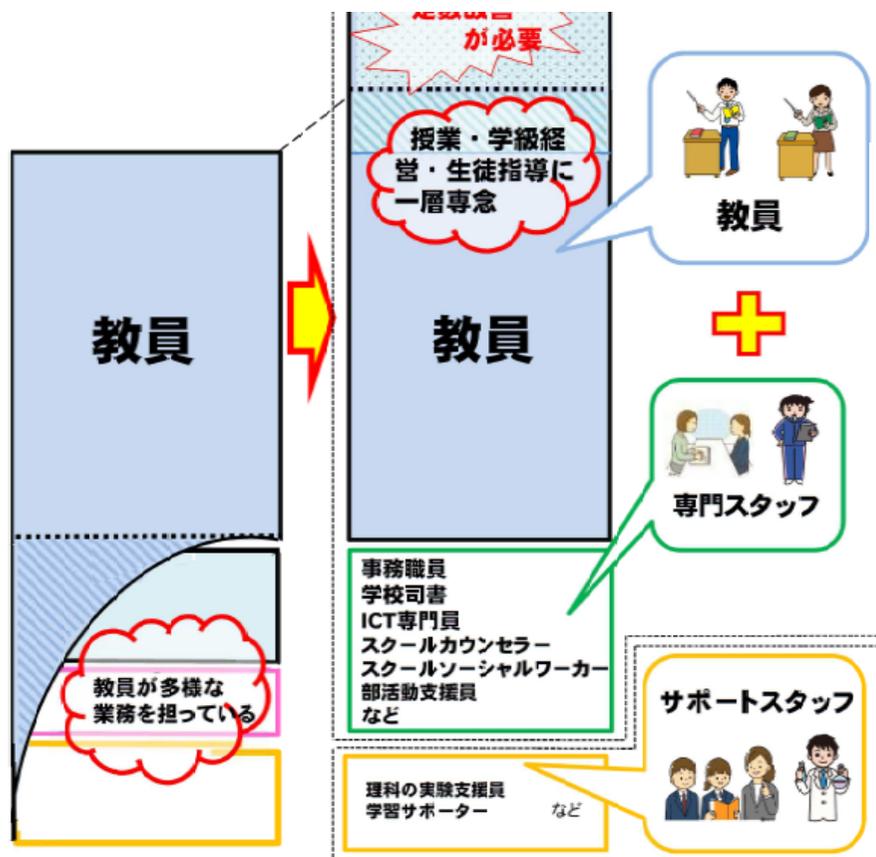
学校保健会  
保健室利用状況に関する調査報告書

調査対象校の数	H27.10～ H28.9の間に 保健室登校有	教室復帰 できた	復帰までの 保健室登校日数
小学校 1190校	32.4% 1校平均1.9人	41.1%	50.3日
中学校 1060校	36.5% 1校平均2.9人	32.3%	47.1日
高等学校 <sub>(全・定)</sub> 1205校	36.8% 1校平均2.8人	43.3%	30.3日

## 12 通信制高校に通う理由と想い



# 13 チームとして生徒の学びなおしを支援する



現在の役割分担

「チームとしての学校」における役割分担

## 養護教諭

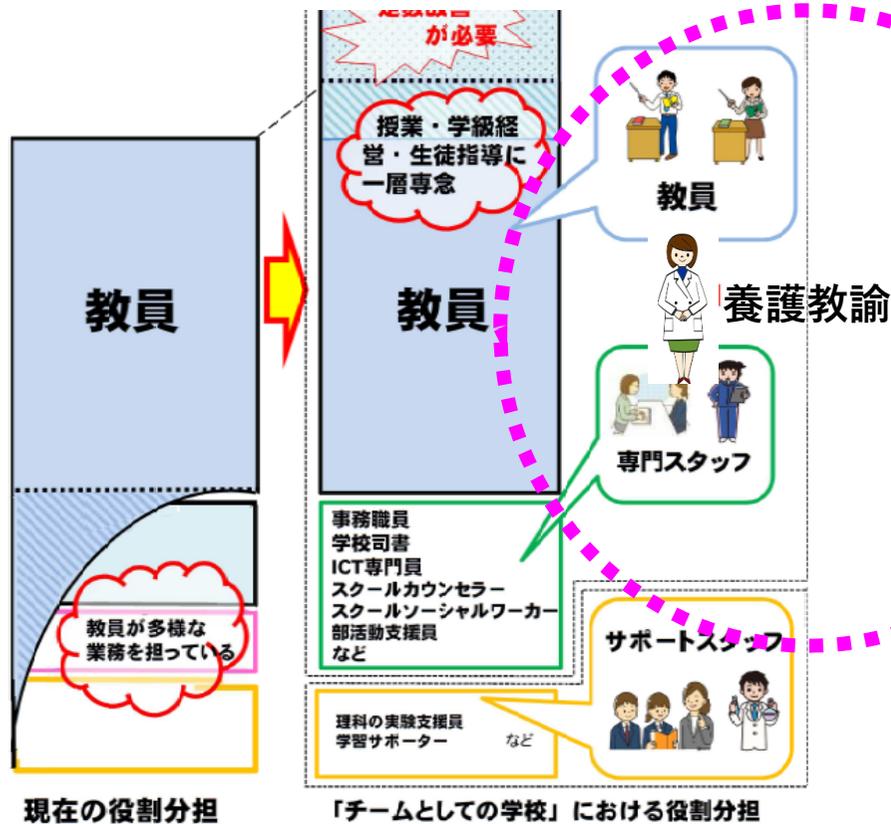
職制から約80年間一人職種として、組織の中で子どもたちの支援をしてきました。

体と心の両方から子どもを受け入れ、支援してきました。

子ども同士を繋ぎ、教員、保護者、学校医、SCを繋いできた経験があります。

チームとしての学校・教職員の在り方に関する  
作業部会中間まとめH27.7(文部科学省)

# 1 4 従来からの役割と、チームとしての学校の中で果たす役割



- 教員とSC.SSWを結ぶ
- 生徒とSC.SSWを結ぶ
- 効果的な支援の中核としての役割



チームとしての学校・教職員の在り方に関する  
作業部会中間まとめH27.7（文部科学省）